

うまく伝わったかな？

1 動画教材を使うに当たって

教材のねらい

インターネットでのコミュニケーションでは、相手の表情が見えないため、お互いの状況や気持ちが十分に伝わらず、誤解が生じることがある。本教材では、インターネットでのコミュニケーションの特徴やその他のコミュニケーションツールの特徴を理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持ってやり取りしようとする態度を養う。

指導観

SNS等の普及によりインターネットでのコミュニケーションの機会が増え、児童生徒の間でもトラブルが生じることがある。

本教材では、友達との間で起きたコミュニケーションのトラブルの原因を考えさせることを通して、インターネットでのコミュニケーションの特徴や気を付けなければならないことを理解させる。また、コミュニケーションツールには、それぞれ利点と欠点があり、時と場合に応じて使い分けの必要があることを理解させる。

これらのことを通して、相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持ってやり取りしようとする態度を養う。

指導時のポイント・留意点

インターネットでのコミュニケーションでは、対面のときと比べて、声や表情等相手の状況を判断する情報が乏しく、相手の意図が理解できなかったり、誤解してしまったりして、トラブルが生じることがある。具体的なトラブル事例について考えることで、このような状況を身近に感じさせながら、気持ちが十分に伝わらない原因を考えさせる。

また、様々なコミュニケーションツールの特徴を比較することで、インターネットでのコミュニケーションの特徴についての理解を深めさせる。

道徳では、オンラインゲームでのコミュニケーションでトラブルになってしまったひろしさんとかずやさんの気持ちや原因等を、自分との関わりで考えさせる。

動画教材視聴のポイント

導入教材は、仲のよいひろしさんとかずやさんが、どうしてトラブルになってしまったのか、考えさせながら視聴させる。

解説動画では、インターネットでのコミュニケーションの特徴やその他のコミュニケーションツールの特徴を整理するとともに、よりよいコミュニケーションの取り方を考えさせながら視聴させる。

取扱い教科等

① 主たる取扱い教科等

小学校

道徳 2 主として他の人とかかわりに関すること

特別活動 学級活動 (2) ウ 望ましい人間関係の形成

中学校

道徳 2 主として他の人とのかかわりに関すること

特別活動 学級活動 (2) オ 望ましい人間関係の確立

特別活動 学級活動 (2) キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

② ①以外の教科等での取扱い

小学校 国語 伝統的言語文化と国語の特質に関する事項

イ (カ) 語感, 言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持つこと

③ ②の教科等での取扱いのポイント

国語科の該当する単元で, 本教材を基にして, それぞれのコミュニケーションツールの長所と短所や特性について話し合う場面で, 本教材を活用することによって語感や言葉の使い方に対する感覚等に関心を持たせることができる。

情報モラル指導モデルカリキュラム表への対応

「1. 情報社会の倫理」

小学校 a3-1: 他人や社会への影響を考えて行動する

中学校 a4-1: 情報社会における自分の責任や義務について考え, 行動する

2.1 モデル指導案：特別活動（学級活動）指導案

本時の目標

インターネットでのコミュニケーションの特徴やコミュニケーションツールには利点と欠点があることを理解させ, 相手の状況や気持ちを考え, 思いやりを持ってやり取りしようとする態度を養う。

授業実施前の準備・事前指導

事前に, 児童生徒が日常的にどのような手段で友達とコミュニケーションを取っているのか, トラブルに巻き込まれたことがないかなどについて, アンケートで確認する。その結果は導入の資料として紹介し, 本時の課題につなげる。

本時の展開

学習活動	指導のポイント
<p>〔課題をつかむ：7分〕</p> <p>1 アンケート結果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション方法は SNS が多い ・急ぎの用事は電話で伝える ・大事なことは手紙に書く ・SNS で友達と言い合いになった <p>2 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>適切なコミュニケーションの取り方について考えよう。</p> </div> <p>〔原因を追求する：小学校 15 分，中学校 17 分〕</p> <p>3 導入動画を視聴し，おたがいにどのようなことを思ったのか，どうして誤解したのかをワークシートに書き，グループで話し合い，発表する。</p> <p>【おたがいに思ったこと】</p> <p>ひろしさん：・負けっぱなしだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイテムを使おう ・何でいかりのスタンプ？ ・こっちも送ってやる ・あれ，ゲームやめた，どうしたんだ <p>かずやさん：・アイテム使ってきてずるい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかりのスタンプ送ってやろう ・何だよ，送り返してくるなよ ・もういい，ねる <p>【どうしてご解したのだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプだから相手の気持ちが分かりにくい ・表情がないと気持ちがわからない ・おたがいの気持ちを考えようとしなかった <p>〔解決方法を考える：小学校 15 分，中学校 18 分〕</p> <p>4 解説動画を視聴し，どのようにしたら誤解しなかったかを考えながら，コミュニケーションツールを使うとき，気を付けることをワークシートに書き，全体で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせたコミュニケーションも入れる ・ご解されないような言い方，書き方を考える ・相手や相手の状況を想像しながらツールを選ぶ <p>5 コミュニケーションを取るとき，気を付けたいことを考え，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや意図がきちんと伝わっているか考える ・相手がどう思うか考える ・実際に会ったときのことを考える <p>〔個人目標を自己決定する：8分〕</p> <p>6 発表の内容を参考にしながら，これから自分が気を付けることをワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場合に応じて，コミュニケーションツールを使い分けられていることを押さえる。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>< 導入動画 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインゲームでのコミュニケーションでトラブルになってしまったひろしさんとかずやさんのお話です。どうしてトラブルになってしまったのかを考えながら見ましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・双方の立場での意見を比較できるように板書し，誤解していることに気付かせる。 ・誤解が生じたことにより，心情的な動き（つらい気持ち）にも言及できるように支援する。 ・コミュニケーショントラブルが起きている間のストレス，不安感を理解できるようにさせる。かつ，不安感は双方とも感じている気持ちであることを理解させる。 ・相手を思いやることが重要であることを理解させる。 ・コミュニケーションの手段を適切に判断し，使い分ける必要性に気付かせる。 ・具体的な実践方法を自己決定できるよう，話し合った工夫を参考にさせる。 ・ワークシートを持ち帰り，学校だけの学習で終わらせるのではなく，学校で話し合ったことや考えたことを家庭でも話し合うように伝える。

アンケート結果

適切なコミュニケーションの取り方について考えよう

コミュニケーションの方法

ひろしさん かずやさん

負けっぱなしだ
アイテム使おう
何でいかりのスタンプ？
こっちも送ってやる
あれ、ゲームやめた、どうしたんだ

アイテム使ってきて
ずるい
いかりのスタンプ
送ってやろう
何だよ、送り返してくるなよ
もういい、ねる

どうしたらご解しなかつただろう

1. 顔を合わせたコミュニケーションも入れる
2. ご解されないような言い方、書き方を考える
3. 相手や相手の状況を想像しながらツールを選ぶ

気を付けたいことをまとめよう

- ・自分の思いや意図がきちんと伝わっているか考える
- ・相手がどう思うか考える
- ・実際に会ったときのことを考える

どうしてご解したのだろう

スタンプだから相手の気持ちが分かりにくい
表情がないと気持ちが分からない
おたがいの気持ちを考えようとしなかった

事後指導

- ①保護者からのコメントを朝の会や帰りの会等で紹介し、学んだことを振り返らせるとともに、実践の継続化につなげる。
- ②実践状況を話し合うなど、定期的に振り返りの時間を設け、実践意欲を持続させる。また、学習内容を学級だより等で保護者に伝え、家庭と連携しながら日常生活で実践していけるようにする。

シナリオ・スライド → p.46

コミュニケーションに関するアンケート

年 組 番 名前

1 友達と直接会って話をする以外に、よく利用するコミュニケーションの方法を多い順に数字で教えてください。

「その他」を選んだ人はコミュニケーション方法を具体的に書いてください。

- () 電話
- () 電子メール
- () 紙に書く（手紙等）
- () 無料通話アプリ
- () SNS
- () その他

2 直接会って話す以外に、どのようなときに、どのような方法で友達とコミュニケーションを取っていますか。多く使うコミュニケーション方法について具体的に書いてください。

3 インターネットで友達とやり取りしているとき、何かトラブルになったことはありますか。どちらかに○を付けてください。

「ある」と答えた人はその内容を具体的に書いてください。

- () ある
- () ない



うまく伝わったかな？

年 組 番 名前

課題

1 おたがいにどのようなことを思ったのか書き出してみましょう。

<p>ひろしさん</p> 	<p>かずやさん</p> 
--	--

2 どうしてご解してしまったのでしょうか。

3 コミュニケーションツールを使うとき、気を付けることを書きましょう。

4 コミュニケーションを取るとき、これから自分が気を付けることを書きましょう。

学んだことを家の人に伝えて話し合い、意見や感想を書いてもらいましょう。

家の人からの言葉

2.2 モデル指導案：道徳学習指導案

本時の目標

相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持ってやり取りする心情を養う。

授業実施前の準備・事前指導

事前に、児童生徒が日常的にどのような手段で友達とコミュニケーションを取っているのか、トラブルに巻き込まれたことがないかなどについて、アンケートで確認する。その結果は導入の資料として紹介し、本時の課題につなげる。(アンケートは特別活動と共通)

本時の展開

※道徳については、解説動画は視聴しない。

学習活動	指導のポイント
<p>〔導入：8分〕</p> <p>1 アンケート結果を確認し、トラブルになった事例を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットで友達とやり取りをしてトラブルになった人がある <p>〔展開：小学校 32分，中学校 34分〕</p> <p>2 導入動画を視聴する。</p> <p>3 なぜ、お互いにかりのスタンプを送り合ったのかをワークシートに書き、発表する。</p> <p>【どうしてかりのスタンプを送ったのか】</p> <p>かずやさん</p> <ul style="list-style-type: none"> アイテムを使うひろしさんに頭にきた <p>ひろしさん</p> <ul style="list-style-type: none"> わけがわからなかった 送られたいかりのスタンプに頭にきた 少し不安になった <p>4 学校でひろしさんが考えていたことをワークシートに書き、発表する。</p> <p>【学校でひろしさんが考えていたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> どうしてゲームをやめたの？ 直接話そう かりのスタンプを送ってごめん 仲良くしたい <p>5 どうして気持ちが伝わらなかったのか、ワークシートに書き、グループで話し合っ、発表する。</p> <p>【どうして気持ちが伝わらなかったのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタンプだけでは気持ちが正しく伝わらないから 相手の気持ちを考えようとしなかったから 直接会って話していないから 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をグラフ化して提示する。インターネットでのコミュニケーションではどのようなことが大切なのかたずね、価値への方向付けをする。 トラブルの事例を共有する際は、個人の特定をしないなどの配慮をする。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><導入動画></p> <ul style="list-style-type: none"> ひろしさんとかずやさんがインターネットのゲームでトラブルになってしまいました。どのようにすればトラブルにならないでインターネットでのコミュニケーションを取ることができるのかを考えながら見ましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 場面絵を活用してトラブルに陥ってしまったことを把握させる。 「ひろしさん」と「かずやさん」の立場から自分の思いを自分の言葉で語らせる。 相手の状況や気持ちを考えようとするときの思いを自分との関わりで考えさせる。 相手の気持ちを考えたコミュニケーションの取り方について自分なりにまとめる。

6 コミュニケーションを取るとき、うまく気持ちを伝えるために、どのようなことに気を付ければよいか、ワークシートに書き、発表する。

【うまく気持ちを伝えるために】

- ・ご解のない表現を心がける
- ・相手の気持ちを考えてやり取りする
- ・意味がわからなかったら直接話す
- ・返信がなくてもイライラしない

〔終末：小学校5分，中学校8分〕

7 教師の説話

・相手の気持ちを考えてやり取りするなど、相手を思いやる気持ちを持って、誤解のない表現を心がけたり、返信がなくてもイライラしたりしないなどの考えをまとめさせる。

・これからの自分の生活に関わって、具体的な場面を設定して考えさせ、実践への意欲付けとする。

・ワークシートを持ち帰り、学校だけの学習で終わらせるのではなく、学校で話し合ったことや考えたことを家庭でも話し合うように伝える。

板書計画

人数

SNS	人数
手紙	5
メール	4
電話	3

ひろしさん かずやさん

学校で「ひろしさん」が考えていたこと
 どうしてゲームをやめたの？ 直接話そう
 いかりのスタンプを送ってごめん 仲よくなりたい

「どうして気持ちが伝わらなかったのか」
 スタンプだけでは気が持たなかったのか
 伝わらないから
 相手の気持ちを考えようとしなかったから
 直接会って話していないから

「ご解のない表現を心がける」
 ご解のない表現を心がける
 相手の気持ちを考えてやり取りする
 意味がわからなかったら直接話す
 返信がなくてもイライラしない

思いやり
 うまく伝わったかな？
 「どうしていかりのスタンプを送ったのか」

アイテムを使うひろしさんに
 頭に来た
 いかりのスタンプ
 わけがわからなかった
 送りたいかりのスタンプに
 頭に来た
 少し不安になった

教材 13

事後指導



- ①保護者からのコメントを朝の会や帰りの会等で紹介し、学んだことを振り返らせる。
- ②実践状況を話し合うなど、定期的に振り返りの時間を設け、実践意欲を持続させる。また、学習内容を学級だより等で保護者に伝え、家庭と連携しながら日常生活で実践していけるようにする。



うまく伝わったかな？

年 組 番 名前

1 どうして、いかりのスタンプを送ったのでしょうか。

<p>ひろしさん</p> 	<p>かずやさん</p> 
--	--

2 学校で「ひろしさん」はどのようなことを考えていたのでしょうか。

	
--	--

3 どうして気持ちが伝わらなかったのでしょうか。

--

4 これからコミュニケーションを取るとき、どのようなことに気を付ければよいでしょうか。

--

学んだことを家の人に伝えて話し合い、意見や感想を書いてもらいましょう。

<p>家の人からの言葉</p>
